

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長テーマ 「We Serve (われわれは奉仕する)」

一宮LCスローガン 「深めよう絆 繋げよう奉仕の和 ウィ・サーブ」

第 1555 回例会

2021~2022

No.18



花見例会

例会プログラム

と き 2022年3月23日(水)12:15
ところ 尾張一宮駅ビル 7階 シビックホール
例会担当 青少年教育委員会

スピーカーご入場
開会のゴング
国旗に礼
国歌「君が代」斉唱
「ライオンズ・ヒム」斉唱
「ライオンズの誓い」唱和
「クラブスローガン」唱和
スピーカーご紹介
会長挨拶
委員会報告
幹事報告
スピーカーの時間
アテンダンス報告
テールツイスター報告
「また会う日まで」斉唱
ライオンズローア
閉会のゴング
スピーカーのご退場

次の理事会 (第19回)

と き 2022年4月6日(水)13:00
ところ 一宮商工会議所ビル 3階 301.302

次の例会 (第1556回) 結成 65 周年記念大会

と き 2022年4月7日(木)16:00
ところ ANA クラウンプラザ
ホテルグランコート名古屋 5階
ローズルーム

スピーカー紹介

株式会社 洋華堂 次長

う かい やす ひさ
鵜飼 靖久 様

harada
Gases-Industrial & Medical

(株)原田商店
一宮市千秋町加納馬場
高須54-1
TEL 77-1802
L 原田 豊子

(株)昇栄化成

一宮市西萩原字若宮前 72
TEL (0586) 52-5915

L 日 沖 昇 市



古川測量登記事務所

一宮市松降一丁目8番地4号
TEL (0586) 26-2255
L 古川 竜生

第 18 回理事会報告

と き 2022年3月9日(水) 11:00
と ころ 一宮商工会議所ビル 4階 小ホール
出席者

L 中川 L 西尾 L 吉江 L 土本 L 御子柴
L 伊藤 L 高橋 L 坪内 L 野寄 L 大山
L 田中(秀) L 佐藤(彰) L 青山 L 久保 L 矢田
L 則竹(保) L 岡村 L 杉山

議 題

1. 真清田神社筆塚竣工式 (2/23) について 会長 L 中川幸男

中川会長から参加してきたとの報告がありました。

2. 4LC 会長幹事会 (2/24) について 会長 L 中川幸男

14 時より一宮商工会議所 402 において水ロケット教室・大会について、平和ポスターの決算について、合同事務局の決算について報告がありました。

3. 会員増強・会則・FWT委員会 (3/9) 報告 会員増強・会則・FWT委員長 L 佐藤彰

L 松下洋祐・L 加藤高浩の賛助会員としての入会の承認をいただきました

4. 石碑寄贈式決算について

アラート・環境保全・社会福祉委員会委員長 L 矢田賀也
決算の報告があり、可決承認されました。

5. その他

L 高橋敬より年次大会への協力の要請がありました。
L 矢田賀也より 3/20 のプロウオーキングへの参加要請がありました。
L 田中秀雄より新会員セミナーの中止について報告がありました。
L 御子柴孝明より最終親睦旅行について次回報告をするとのお話がありました。
L 大山恭範より 6/24 からカナダモントリオール国際大会があることの報告と参加要請がありました。

ポンプ車・消防車贈呈式報告

と き 2022年3月16日(火) 14:30
と ころ 尾西消防署・一宮市役所市長室



尾西消防署にて、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、合計 2 台スリランカへ寄贈する車両の贈呈式が行われ、中川幸男会長より「蘭花の会」に目録が贈呈されました。

その後一宮市役所本庁舎に移動し、中野市長より中川幸男会長に車両目録が贈呈されました。晴天に恵まれ、無事終了いたしました。

《出席者》

L 中川・L 土本・L 伊藤・L 橋詰・L 岡本



CKC
CharCase Corporation

有限 子リカセイ

〒491-0125 一宮市高田字南屋敷 18-3
TEL0586-78-1268/FAX0586-78-1371

L 御子柴 孝明

物流機器メンテナンス
株式会社 サンメカニック
一宮市大和町戸塚字町長 100-1
☎ 52-5512
L 松山 英樹

ファイナンシャルアライアンス
名古屋市中区錦 1 丁目楠本第 9 ビル 2 階
TEL (052) 414-5306
L 水野 泰嘉

第 1554 回例会報告

と き 2022年3月9日(水)12:15

ところ 一宮商工会議所ビル 3F 大ホール

3月の第1例会は、一宮 LC 紹介 PR 例会として、お客様をお招きして開催されました。

例会に先立ち、2月18日にご逝去されました L 松本史郎、3月3日にご逝去されました L 松山榮のご遺徳を偲び、黙祷を捧げました。

会長より開会のゴングが鳴らされ、国旗に礼、国家斉唱、ライオンズクラブの歌斉唱、ライオンズの誓い、クラブスローガンの唱和が行われました。その後、土本幹事より本日のスピーカーの損害保険ジャパン株式会社 原田伸一様と PR 例会ご招待者 7 名のご紹介が行われました。



中川会長の挨拶では、近々還暦を迎える中、歳をとったからできないではなく、歳だからこそ明日や今度ではなく今できることを行い、様々なことに参加して人生を楽しんでいきたいとお話をいただきました。

新入会員入会式があり、あらたに L 松下洋祐、L 加藤高浩が賛助会員として入会されました。続けてアワード伝達、メルビン・ジョーンズ・フェロー・ピン贈呈、誕生日のお祝い、各委員会報告にてホテル生息地記念石碑寄贈の決算



報告、3月20日のプロウオーキングのご案内等がありました。

幹事報告の後、スピーカーの原田伸一様より、サイバー攻

撃に対するリスク管理についてとして、個人情報の漏洩・不正アクセス・ランサムウェアによる損害の事例、サプライチェーン攻撃によっておこる損害賠償リスクの事例、その際に行う必要がある原因究明・影響範囲調査にかかる費用の為のサイバー保険についてのお話を伺いました。

その後、アテンダンス報告、テールツイスター報告、「また会う日まで」斉唱、例会当日に誕生日を迎えられた L 岡本将嗣よりライオンズローアの発声、閉会のゴングにて例会が終了いたしました。



例会担当 マーケティング委員長 則竹保利

第 1554 回例会アテンダンス報告

会員数 240 名

正会員 103 名 賛助会員 5 名

家族会員 132 名

例会出席対象会員数 108 名

出席者 42 名(メーク・アップ 4 名)

出席率 46%

今回の例会は出欠関係ありません。

第 1554 回例会ドネーション・ファイナンス

合計 60,000 円

◎ドネーション

60,000 円

L 中川 幸男 PR 例会 7 名招待できた喜び 10,000

L 大山 恭範 新会員 2 名スポンサーができた喜び 10,000

L 土本 和佳 PR 例会 7 名招待できた喜び 5,000

L 西尾 建一郎 PR 例会に 4 名来ていただいた喜び 5,000

L 坪内 章浩 ドネーションが少なかった為 3,000

3 月お誕生日 L 岡本 将嗣 他 8 名 27,000

◎ファイナンス

0 円

ドネーション・ファイナンス累計

1330,000 円

株式会社 アイタック

一宮市木曾川町黒田 12 通り 15

TEL 84-1911

L 宮田 昭一

L 三好 秀導

L 三輪 泰治



《ウクライナ侵攻による避難民・難民への LCIF 支援》

LCIF

3月3日、ダグラス・X・アレキサンダー国際会長はライオンズ・リーダーに向けてメッセージを発信し、ロシアによるウクライナ軍事侵攻で起きている人道的危機に対し、国際協会が現在、次の取り組みを行っていることを伝えた。

- ・ LCIF による支援 - 新設された難民・避難民資金への寄付呼びかけ
- ・ ソーシャルメディア (SNS) - LCI と LCIF の SNS チャンネルを通じて、平和のメッセージと LCIF への寄付の呼びかけを投稿
- ・ 公式ホームページ (lionsclubs.org) - 避難民・難民のための LCIF 寄付を訴えるバナーを掲載



LCIF は自然災害による被災者の支援を原則とし人災は支援対象外としているが、過去には 9.11 ニューヨーク同時多発テロの被災者支援、シリア難民への支援、レバノン大爆発の支援等、自然災害ではなくとも世界的視野で見て被害が甚大で、多くのライオンズ会員から支援の意思が示された場合には寄付を呼びかけ、支援を行ってきた。今回のウクライナ国民への支援は「難民及び暮らす場所を奪われた避難民への支援」と位置づけて寄付を募ることを決定。オンライン寄付窓口を開設し、SNS での寄付募集を開始した。

こうした LCIF の対応について、鈴木誓男 LCIF 理事は 3 月 1 日に開催された一般社団法人日本ライオンズの執行理事会で会員一人 1000 円を目安とする寄付を呼びかけ、330~337 複合地区ガバナー協議会議長の賛同を得た。その後、OSEAL 調整事務局 LCIF 日本担当から各地区へ、ウクライナ侵攻による避難民・難民支援のため LCIF 寄付付の案内が発信され、次のような情報が伝達された。

- ・ 日本では会員 1 人当たり 1000 円の寄付を呼びかけ、可能であれば「クラブ寄付」として地区でとりまとめる
- ・ この寄付は災害復興支援と同様、全額がウクライナ支援のために活用される。地区及びクラブシェアリング交付金の対象にはならない

ウクライナ (134 地区) には 2 月末現在、29 クラブに会員 657 人が在籍している。ウクライナ初のライオンズクラブが結成されたのは、旧ソ連が崩壊した 1991 年。リトアニア、ラトビア、エストニア、ロシアに続き、旧ソ連の国で 5 番目のライオンズ国となった。ウクライナ最初のクラブは東部ドネツク州のマケエフカ ライオンズクラブで、イタリアのクラブがスポンサーとなって結成された。

『ライオン誌』2016年11月号は、キエフ ライオンズクラブの資金獲得事業「コサック・デー」のレポートを掲載。それによれば、同クラブはウクライナ人だけでなくアメリカ、スペイン、ドイツなど多国籍の会員で構成され、伝統の乗馬技術を披露するコサック・デーの催しで得た収益を活用し、海岸清掃や児童擁護施設の再建などの奉仕活動を実施している。また、19年5・6月号掲載の「17-18 年度 LCIF 年次報告」では、ウクライナのライオンズが LCIF 交付金を活用し、児童擁護施設で暮らす重度弱視の子どもたちに電子ルーペを提供したと報告している。鈴木 LCIF 理事によれば、ウクライナのライオンズは東ヨーロッパの中では最も LCIF 支援に積極的で、キャンペーン 100 のエリアリーダーはウクライナの元地区ガバナーが務めている